

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ごとし	「光陰矢のごとし」の続きは「ごとし」です。意味は「月日が過ぎるのは矢のように非常に早いこと」です。
問2	答え 3 まだ手に入っていない利益をあてにして計画を立てること	「捕らぬ狸の皮算用」は「まだ手に入っていない利益をあてにして計画を立てること」という意味です。
問3	答え 1 文殊	「三人寄れば文殊の知恵」の「文殊」の部分が入ります。意味は「凡人であっても、三人集まって相談すれば素晴らしい知恵が浮かぶものだ」です。
問4	答え 2 棒	「犬も歩けば棒に当たる」の「棒」の部分が入ります。意味は「何かをしようと行動すれば、思わぬ幸運や災難に出会うことがある」です。
問5	答え 4 うっかり言った一言が原因で、大きな失敗や災難を招くことがある	「口は災いの元」は「うっかり言った一言が原因で、大きな失敗や災難を招くことがある」という意味です。
問6	答え 2 五分の魂	「一寸の虫にも五分の魂」の続きは「五分の魂」です。意味は「どんなに小さく弱い者でも、それ相応の意地や考えがあるから侮ってはいけません」です。
問7	答え 1 友	「類は友を呼ぶ」の「友」の部分が入ります。意味は「似た者同士は自然と集まりやすい」です。
問8	答え 3 狭い世界に閉じこもっていると、世の中の広さを知らないままになる	「井の中の蛙大海を知らず」は「狭い世界に閉じこもっていると、世の中の広さを知らないままになる」という意味です。
問9	答え 3 欲を出して同時に二つのことをしようとすると、どちらも失敗する	「二兎を追う者は一兎をも得ず」は「欲を出して同時に二つのことをしようとすると、どちらも失敗する」という意味です。
問10	答え 3 しかず	「百聞は一見にしかず」の続きは「しかず」です。意味は「人から何度も聞くよりも、一度自分の目で見るほうが確かである」です。
問11	答え 2 団子	「花より団子」の「団子」の部分が入ります。意味は「風流や見た目よりも、実質的な利益や実用性を重んじること」です。
問12	答え 4 蜂	「泣きつ面に蜂」の続きは「蜂」です。意味は「不運なことが重なって、さらに悪い状態になること」です。
問13	答え 2 三文の徳	「早起きは三文の徳」の続きは「三文の徳」です。意味は「朝早く起きると、健康によかったり少しだけ良いことがあるということ」です。
問14	答え 4 八	「七転び八起き」の「八」の部分が入ります。意味は「何度失敗しても、くじけずに立ち上がって努力すること」です。
問15	答え 4 揉め事のあと、かえって前よりも良い状態になること	「雨降って地固まる」は「揉め事のあと、かえって前よりも良い状態になること」という意味です。
問16	答え 2 返らず	「覆水盆に返らず」の続きは「返らず」です。意味は「一度起きてしまったことは、二度と元には戻らない」です。
問17	答え 3 一度あったことは二度、三度と繰り返されることが多いということ	「二度あることは三度ある」は「一度あったことは二度、三度と繰り返されることが多い」という意味です。
問18	答え 2 苦し	「良薬は口に苦し」の「苦し」の部分が入ります。意味は「自分にとってためになる忠告は、聞くのがつらいものだ」です。